

# かっぱ通信

2022年12月25日

vol. 144

これから  
日が長くなるよ号

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.cococan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>



何がいるの  
かな、？

## 報告 NPO子育て支援ネットワーク「すずめ」の いきもの観察会支援

10月16日（日）、子育て支援ネットワーク「すずめ」の幼児向けのいきものとのふれあいを支援しました。「すずめ」からは定員を大きく上回る親子30組、合計80人ほどの参加がありました。かっぱの会では、これまで幼児を対象とした本格的な取り組みをやったことがなかったのですが、ちゃんとできるのか大きな不安もありましたが、結果としては大成功でした。

前半の1時間ほどは、北山公園の草地で虫捕りを楽しみました。この日の昆虫の主役は、ちょうどこの時期が旬のバッタたちです。幼児でも簡単に捕まえられるので、虫捕り経験がなくて最初は及び腰だったこどもも、キャーキャー大騒ぎで虫捕りを楽しんでいました。イナゴ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、ヒシバッタ、イボバッタなどがたくさんいましたが、なぜか大物ショウリョウバッタのメスが見つかりません。その大きさにこどもたちにびっくりして（次ページへ）

ほしかったので、みんなで宝探しのように探すことにしたところ、無事一人の女の子が見つけてくれて盛り上がりました。虫捕りの後には、菖蒲田にあるアライグマなどの足跡を観察し、当日の外来種のアミの点検作業で捕獲したアメリカザリガニやウシガエルなどを観察しました。解散になる頃には、どの子もアメリカザリガニをつかむことができるようになっていました。

この日は大きな収穫が2つありました。1つは幼児が虫や自然は楽しいと感じ、自然体験・虫捕り体験が原体験となるきっかけになるかもしれないこと。もう1つは参加してくれたお父さん・お母さんが、北山公園の生き物や自然は素晴らしいと気づいてくれたことです。この2つの収穫は、この先の北山公園や東村山の自然を守るための大きな力になっていく可能性を秘めています。(ビー永島)

### ■参加された皆さんのアンケートより (抜粋)



●ふだんから北山公園を利用している人にも、かっぱの会からの説明やガイドが役に立ちました。

「いつもとは違った北山公園の楽しみ方を親子共々、体感しました」

「ふだんは足を止めない所に、沢山の虫たちがいることを知ったり、“バッタ”と言っても様々な種類を実際に見比べながら教えてもらったり。家に帰ってから図鑑を広げて調べて、より関心を広げていました」

●いつもとは違う家族の関わり合いも…

「もともと虫を怖がると思っていた息子が思いのほか、触れることを知ったり、子ども達の成長を感じることができました」

「親も必死になって草を見て、虫を見つけられた時、子どもの頃に帰った気持ちでした」

「初めての体験を沢山子どもにやらせてあげられてよかった」

●清水代表から、個有の生態系を守る取組み、人工的な公園に変えられようとした経過を乗り越えてきた歴史などの説明も行いました。

「北山公園の自然がそのまま残っている理由、地域の方の努力を知ることができて、大変有意義でした」





「自然環境を守るために行政と交渉した過去の話など、地元住民ながら知らないことばかりで、(そのために関わられた)皆様に感謝の念を抱きました」

●「また参加したい」「この自然が保たれるように、できることをしていきたい」

「またぜひ違う季節、四季折々にもやっていただきたい。」

「イベントを通して、貴重な自然を子ども達に教えていきたい」

「いつまでもこの風景を残していくために、親である私達もできることをしていきたい」

「北山公園の自然がこれからも保たれますように、微力ですが関わりたい」

## いきものマップ簡易版を作成します



かっぱの会では、北川、北山公園や八国山のいきものたちを紹介したマップ「いきものマップ」(図左)を作成、頒布してきました。いろんなイベント等に活用され大変好評でしたが、いよいよ残部が僅かとなってしまいました。そこで、増刷等を検討しましたが、改めて簡易版を編集・印刷する方針としました。簡易版はA4判に縮小することで、紹介するいきもの数は減りますが、労力やコストの縮減を図ります。しかし、内容的にはしっかり充実させ、これまで同様に活用しやすいものにしていきますのでどうぞ期待ください。(ビー永島)

## 報告 市主催エコライフフェアでパネル展示

北川かっぱの会では、11月29日～12月4日に中央公民館で開催されたエコライフフェア(主催;東村山市環境資源循環部)にパネルを出展しました。展示では、北川かっぱの会の紹介の他、水生生物やカエル、外来生物の紹介を行いました。エコライフフェアは、昨年度まで開催されていた環境フェアと比べ開催規模も拡大し、来訪者数も多くなったのではないかと感じました。多くの市民がエコライフを実践していく契機になるとともに、地域の自然を守る運動にも目を向けてもらえるいい機会だったと感じました。



## イナゴ

北山公園には、秋になるとたくさんのイナゴが現れます。東村山で最も身近に見られるバッタの1種で、北山たんぼのイネや菖蒲の葉を食害する害虫とされていますが、その昔は山間部などでは乏しい蛋白質を補う貴重な食糧でもありました。今でも地方のお土産屋さんで、つくだ煮などが売られているので、食べたことのある人は意外と多いようです。

このイナゴと言われているものは、正確にはコバネイナゴとハネナガイナゴの2種を指しています。コバネイナゴ(図上)とハネナガイナゴ(図下)は外見上そっくりですが、名前の通り翅(はね)が小さいか長いかの違いによる区別が一般的で、胴体(お尻の先)より短いか長いかが目安となります。コバネイナゴはほぼ全国に分布しますが、ハネナガイナゴは北海道には分布しません。一時



コバネイナゴ



ハネナガイナゴ

は強力な農薬によりかなり減少しましたが、現在ではかなり回復しているようです。一般にコバネイナゴの方がずっと数が多いと言われていますが、なぜか北山公園ではハネナガイナゴの方が多く見られます。イナゴは誰でも簡単に捕まえられるので、ぜひコバネかハネナガが識別してみてください。(ビー永島)

## 北山公園のココが好き

北山公園は菖蒲まつりでしか行ったことがありませんでした。どの道から行っても坂があるし、道も複雑で覚えられないし、子連れだとアクセス悪くて大変だし、狭山公園で充分だし、と思っていました。

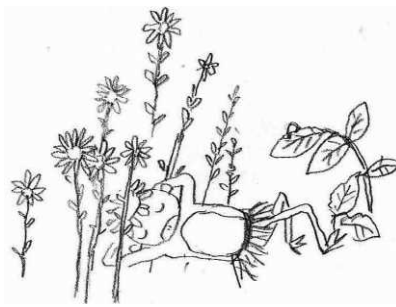
数年前に息子とわんぱく川まつりに行ったところザリガニ釣りにはまり、川掃除に参加するようになり、かっぱの会に入会、今に至ります。今回の原稿は「北山公園のここが好き!」というテーマで書かせていただきます。

まずしょうちゃん池を覗くとウシガエルの幼生が見えますが、手のひらサイズのジャンボなおたまジャクシは迫力があります。

そして公園横を走る電車が全てに映えます! 桜、菖蒲、あじさい、たんぼ、紅葉と一緒に写る黄色い西武線はとてもフォトジェニック。「大好き! 東村山写真コンテスト」の受賞作品に毎年北山公園の写真があるのも納得です。良いカメラをお持ちなら、ハグロトンボやカワセミなど綺麗な生き物も撮れるかもしれません。

私のスマホには、サシガメ(カメムシ)の集合体、巨大ゲジ、オケラの死体、ヤマビルなどコンテストとは程遠い写真が保存されています。

子供達にとっては、線路脇にある土手が最高の遊び場になります。走って降りたり、お尻で降りたり、枯れ葉に埋まったり、洗濯が大変なのでお母さんの心に余裕がある時をお勧めします。(上田)



## 報告北山小4年生の総合的学習支援

かっぱの会では、北山小学校の総合的学習の支援をしています。11月5日、永島さんを講師に4年生の授業「秋の北山公園のいきもの」が行われました。

学校の隣の北山公園に行き、秋の生き物を見つける活動です。少し寒くなってきている公園には、最初あまり生き物がいないように見えました。ところが、子ども達が草地をよく探してみると、イナゴ、エンマコオロギ、ゴミムシ、サシガメなどが見つかり、手にのせて、見せ合いっこをしました。

雲の合い間からお日様が顔を出すと、それにつられて、カナヘビ、アマガエル、ナナホシテントウムシ、アオバハゴロモなども出てきました。やはり、ちょっと大物が出てくると、子ども達からも歓声が上がりました。

次の菖蒲田では、タヌキやイタチ、アライグマ、ハクビシンなどの足跡をたくさん見ることができ、夜には哺乳類達も公園を訪れていることが分かりました。

最後に、しょうちゃん池でスコープを使って鳥の観察をし、アオサギのドアップの表情を楽しみました。子ども達は、想像以上に北山公園の豊かな生態系を知り、より親しみを感じられるようになったのではないかと思います。(藤み)



## 報告 今年の外来生物捕獲結果

北川かっぱの会では、2013年4月より北山公園のしょうちゃん池や菖蒲田周辺で、在来生物の脅威となっている外来生物の捕獲を行っています。今年の捕獲実績は、ウシガエル（成体）15、ウシガエル（幼生）201、アメリカザリガニ957などとなりました（表参照）。この10年間の推移を見ると、北山公園界限では、アカミミガメやクサガメの姿はほとんど見かけられなくなりましたが、ウシガエルは昨年と比較し今年は捕獲数が減少したものの、依然として多くの姿が見られる状況が続いています。



10月8日には外来生物慰霊祭を開催し、捕獲した外来生物の霊を慰めました。慰霊祭で改めて感じたことは、個々の外来生物が悪いのではなく、人間の勝手な所業により外来生物が放たれ、多くの在来生物が脅かされ、里山の生物多様性や景観に大きな悪影響を与えているということです。北川かっぱの会では、来年以降も在来生物の生息環境の改善と外来生物の捕獲に取り組んでいきますので、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願いします。



北山公園周辺におけるウシガエル等の捕獲状況 単位:個体数 2022/10/8現在

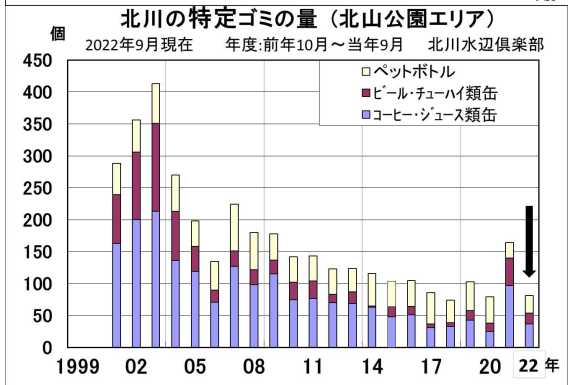
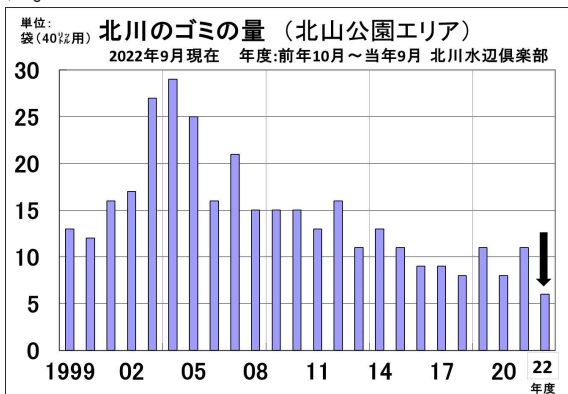
年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アカミミガメ	9	11	4	2	5	3	0	1	2	0
クサガメ(再捕獲を含む)	13	10	8	1	5	2	0	1	0	1
ウシガエル(成体)	2	1	3	42	106	44	53	63	39	15
ウシガエル(幼生)	10	24	約550	192	86	282	1137	516	342	201
アメリカザリガニ	99	126	約550	約760	1127	354	784	779	1037	957

## 報告 今年のゴミ調査結果

北川かっぱの会では、毎月第2土曜日の午前中に「定例川そうじ」を実施しています（北山小前～西武園線鉄橋下）。川そうじで収集したゴミについて仕分けを行い、そのゴミの量の計測を行なっていますが、このほど2022年度の調査結果（毎年10月～9月）がまとまりました（データは松村さん提供）。

ゴミの総量は2004年度をピークに減少しているものの、ここ何年かは大幅に減少するような傾向にはありません。また、ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数は、最も多かった2003年度と比較し減少して

いますが、こちらもここ何年かは大幅に減少するような傾向にはありません。



今年度は昨年度と比較し、ゴミ総量、特定ゴミの本数が減少していますが、その多くが特定の個人によるゴミの投棄がなくなったことが大きく影響していると思われます。

北川かつぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 2023年 1月～3月 活動スケジュール

☐ は ボランティア募集 の略、☑ は 会員のみの略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会) または直接会員にお知らせください

**コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。**  
**「かつぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。**

### 定例川そうじ ☐

3月以降の毎月第2土曜 9～11時

3/11 集合:北山小正門前

### 川端会議

2/11 (土) 10-12時; 市民センター。北山公園周辺の環境整備につ

いて、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

### 野鳥観察会 (北山公園と八国山)

1/28 (土) 13-15時; 北山公園あずまや集合 (荒天中止)

## かっぱ定例会

1/28(土) 16-17時半 サンパルネ 3  
階インソール。2023 年に重点的に取り  
組むべき課題などについて検討

2/25(土)15-16時半；サンパルネ 3  
階インソール。2023 年度活動方針案、4  
月頃までの活動計画の詳細について  
検討。

## かっぱ総会

3/25(土)15:40~18:00 開催予定

## ご寄付に深謝！

東村山の原風景を守る会様から、  
解散を機にご寄付いただきました。  
ありがとうございました。

## 北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』  
北川復元プランのパイロットケース  
として、北山公園周辺の北川が変わ  
りつつあります。21 世紀の未来の  
川の姿を探る一冊。頒価 1000 円  
送料 82 円。新一般会員には無料贈  
呈

『北川流域マップ-未来の川へ-』  
北川公園、八国山を歩くための地図。  
流域の生き物ミニ図鑑付き。A2 両  
面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の  
生き物観察ガイド』  
A2 両面版の生き物ミニ図鑑と解  
説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園  
いきものマップ』

かっぱの会 20 周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこ  
にどんな生き物が見られるか、環境  
ごとに誰もが普通に見られる種を主  
体に示したマップ。観察会などイベ  
ントで無償配布。A2 両面版。

## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山  
公園一帯の緑の保全とその前を流れ  
る北川の清流復活という夢をもって  
作られた会です。自然と野外の遊び  
が大好きで、趣旨に賛同、活動に参  
加できる方(参加、入退会自由)を  
広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000 円  
支援会員：2年間で 2000 円  
学生は2年間で 1000 円  
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先  
〔郵便振替 00120-6-104476〕  
〔りそな銀行東村山支店  
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図  
書館に置いています。

●編集後記 すっかり寒くなり雪の便  
りの今日この頃。富士山もしっかり冠  
雪。やはり富士山は雪があるから美  
しい。富士山がきれいに見える朝は何か  
得た気持ちになる。

(遊星歯車)



●発行：北川かっぱの会  
連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp